

# 第10回 中央区自治協議会 会議録

開催日時	令和5年2月24日(金) 午後2時～午後4時
会場	中央区役所5階 対策室
出席者	<p><b>委員</b></p> <p>日野浦委員、玉木委員、高橋(誠)委員、川端委員、高田委員、高橋(廣)委員、山田委員、遠藤委員、青山委員、樋口委員、中野委員、若槻委員、大竹委員、斉藤委員、吉岡委員、三國委員、影山委員、飯田委員、田中(雅)委員、宮本委員、佐藤委員、阿部委員、池委員、松山委員、小川委員、田邊委員、知野委員、西潟委員、清野委員、梶委員、松川委員、桐生委員、北川委員、若木委員</p> <p>出席 34名 欠席 4名 (小沢委員、高橋(直)委員、田中(鈴)委員、高橋(勝)委員)</p> <p><b>事務局・説明者</b></p> <p>[新潟市教育委員会] 教育支援センター所長、中央図書館 [中央区役所] 区長、副区長、窓口サービス課長、健康福祉課長、保護課長、建設課長、東出張所長、南出張所長、地域課長、地域課長補佐</p>
議事	<p>1 開会</p> <p>○ 会議の成立について 委員 38名中 34名出席のため、規定により会議は成立</p> <p>2 議事(議長=佐藤会長)</p> <p>(議長)</p> <p>皆さんこんにちは。</p> <p>それでは、皆さん、次第をご覧になってください。今日は、議事が1件、報告が2件、区役所からのお知らせ、そして、市長と自治協議会との懇談会があります。市長は午後3時ごろにここに来られるそうですので、あまり時間がありません。そのため、部会活動報告会で発表していただく第3部会と第4部会は委員活動報告からはカットさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>(1) 中央区自治協議会 第9期委員改選について(資料 議1)</p>

(議 長)

最初に、「議事(1)中央区自治協議会第9期委員改選について」です。委員推薦会議座長、高田委員から説明をお願いします。

(高田委員)

上所校区コミュニティ協議会の高田です。よろしくお願いします。私から、中央区自治協議会第9期の委員改選について、説明させていただきます。

委員推薦会議では、第9期委員構成枠について、11月の全体会議で皆様よりご承認いただいている方向性に沿って協議して、12月の全体会議にて、書面開催ではありましたが、委員構成枠の案をお示しさせていただきました。本日は、その後、各コミュニティ協議会、公共的団体から推薦いただいた方の報告と、公募委員、区長推薦枠について、ご報告いたします。

お手元に、A3の中央区自治協議会委員推薦名簿という用紙をお配りしていますので、それに沿って説明していきます。

まず、地域コミュニティ協議会の選出者については、各コミュニティ協議会から1名ずつ、記載のとおり推薦されておりますということです。次に、2番、区ビジョンの5分野からの選出者について、こちらは12月の全体会議では団体名しかお示ししていませんでしたけれども、それぞれの団体から、記載のとおり名前が挙がっております。なお、一番下、⑤歴史・文化、産業、まちなみの分野については、12月の時点では新潟商工会議所を候補団体としておりましたが、こちらでは推薦が難しいということでしたので、再度委員推薦会議を開催して、協議した結果、新潟青年会議所に依頼をし、推薦者が決まりました。

次に、3番、区長が必要と認めたもの及び公募によるもの(計4名)のところですが、これも、次世代を担う学生など若い世代から多様な意見をもらえるようにということで、記載の団体から1名ずつ推薦してもらうことになりました。ここには、区長推薦枠として新潟青陵大学、区内専門学校ということで、現在、推薦中ということです。来月の全体会議にて推薦者を報告させていただいてご承認いただきたいと思っています。

最後に、公募委員について、昨年12月26日から今年1月26日まで1か月間募集したところ、4名の方から応募がありました。私たち推薦委員会議では、4名の方から提出された書類を委員がそれぞれ評価して、採点を行いました。その採点結果を集計して合議をしたうえで2名の方を選定し、推薦することとなりました。その2名の方というのは、若木立也さん、それから北川裕子さんです。お二人は、第8期委員としてもご活躍いただいておりますので、第9期も引き続きよろしくお願いいたします。

以上、合計32名、その内、新任の方が20名になりました。非常に多いです。再任回数が1回の方が6名、再任回数2回の方が4名、再任回数の方が2名です。男女比は

現時点で届出のあった方のみ集計した結果、男性が18名、女性が12名で、女性の登用率が40パーセントとなります。第8期では31.6パーセントでしたので、第9期は女性の活躍が大いに期待されるということかと思えます。

以上、委員推薦会議の決定事項について、説明を終わります。皆様からの承認よろしくをお願いします。

(議 長)

今の高田座長から説明に対して、質問、意見等はありませんか。

では、このメンバーで、我々も承認したということで、よろしいですね。ありがとうございます。

なお、選任中の大学生と専門学校生ですけれども、3月の全体会議までには決定して、また高田座長より報告していただきますので、よろしくお願いします。

### 3 報告

――自治協議会委員活動報告――

(1) 部会からの報告について

(議 長)

続きまして、報告事項に入ります。各部会からの報告ですけれども、先ほど説明したとおり、第3部会と第4部会は省略させていただきます。

それでは、第1部会、中野部会長、よろしくお願いします。

①第1部会 (資料 報1-1)

(中野委員)

第1部会長、中野です。烏屋野校区コミュニティ協議会です。

資料報1-1をご覧ください。2月13日に行いました。出席委員その他はご覧のとおりです。

議題が3つありまして、1つが、1月27日に行われました部会報告会の振り返りをしました。委員一人一人がどのような感想を抱いたか、話をしました。皆さん大体共通していましたが、楽しさが伝わる報告でよかった、活動に対して高い評価をもらったので、これで終わるのはもったいない、さらにバージョンアップして次につながることであればいいのではないかといった意見がありました。

この報告会の中で、少しサプライズがありまして、野島副市長が段ボールガチャを引きまして、答えていただきました。これは少し驚きました。これで報告会がとても盛り上がりました。とてもいいサプライズではなかったかと、非常に私も喜んでおります。

2 番目ですが、区自治協議会提案事業の事業評価です。令和 4 年度の区自治協議会提案事業の事業評価の内容を検討しました。この事業評価書の内容は第 1 部会で実施したにいがた 2km ガチャラリーです。例えば、集まったクイズの数、あるいはデータのなものをもう少し入れてもいいのではないかといった意見もありました。これらの意見を踏まえまして、次の部会でさらに検討しようということにしました。

3 番目ですけれども、本日の市長との懇談会の意見交換について、発言者はだれにするか、どのようなことがいいのかという話をしました。古町になくて困っているようなものがあるよという意見もありまして、そういったものを中心に発言することとし、発言者も決定しました。

(議 長)

中野部会長、どうもありがとうございました。

質問、意見等は第 2 部会まで終わったら行いたいと思います。

続きまして、第 2 部会、山田副部会長、よろしくお願いします。

(山田委員)

栄地区コミュニティ協議会の山田です。お願いいたします。

第 2 部会の報告をさせていただきます。資料報 1-2 をご覧ください。日時、会場、出席委員は記載のとおりです。

議題 1、中央区環境整備活動について。5 月 11 日から 13 日に開催される G7 サミットに向けて、女池小学校の児童にチラシ、ポスターのデザインを依頼したところ、1 年生から 5 年生の合計 25 名の応募があり、どれもとても頑張って描いてくれて、考えて描いてくれたのだなと伝わる絵ばかりでしたが、その中から話し合いをして、載せるものを決定しました。その後、事業名を「G7 サミットおもてなし美化活動」、キャッチコピーを「『ニイガタ』から世界へ 一人一人ができること」とし、その後、レイアウト、配布先について検討しました。今後は、3 月 9 日にチラシが納品されるので、その発送作業を行う予定です。

なお、25 名の児童の作成した絵は、3 月 16 日から 22 日に、この NEXT21 の 1 階アトリウムで展示する予定です。

議題 2、市長との懇談会について、テーマ、発言者を決定いたしました。テーマは G7 サミットと子育てについてということです。

(議 長)

山田副部会長、どうもありがとうございました。

第 2 部会まで報告が終わりましたので、質問、意見等はありませんか。挙手をお願いいたします。

よろしいですか。どうもありがとうございました。

――各所管課からの説明（報告）――

（2）令和5年度中央区特色ある区づくり予算（区役所企画事業）について  
（資料 報2）

（議 長）

続きまして、各所管課からの説明に入ります。「報告（2） 令和5年度中央区特色ある区づくり予算について」です。清水総務課長、よろしくお願いします。

（総務課長）

こんにちは。総務課長の清水です。

それでは、私から、特色ある区づくり予算の来年度の意見をいただきましたので、その対応について、回答いたします。

はじめに、本日配付しました一覧表をご覧ください。来年度の区づくり予算についてですが、8事業3,135万円と、区自治協議会提案事業165万円を合わせて総額3,300万円になりました。

お手元の資料報2をご覧ください。1枚めくっていただきまして、表の右上に事業費が書いてあります。意見については右下に記載しました。

それぞれの事業について、ご説明いたします。1は新規事業で、建設課の「ぐるっとサイクルツーリズム事業」です。132万円です。データも活用しながら、にいがた2km近郊エリアへの誘客促進に向けて取り組むとともに、自転車利用に関するさまざまな取り組みについても関係機関と連携しながら検討していきます。

2番は総務課の「まちなか活性化事業」、242万円です。古町で学ぶ人や働く人が参画できるよう見直して進めていきます。

続きまして、1枚めくって、3番新規で、健康福祉課の「認知症地域支えあい推進事業」、61万8,000円です。啓発内容や対象世代について、意見の内容を踏まえて検討していきます。

4番、窓口サービス課の「鳥屋野潟環境啓発事業『とやの物語』」、517万円です。SNSの活用も含めて、効果的なPR方法を実行委員会で検討していきます。

続きまして、次ページ、5番、建設課の「区民協働森づくり事業」、594万円です。地域と協働で実施できる内容を協議会で検討していきます。

続きまして、次ページ、6番、新規で建設課の「都市公園活性化事業」、500万円です。ターゲットの明確化や一体的な周知など、各公園の特性を最大限生かすことができるよう、必要な調査検討を進めてまいります。また、公園周辺の整備や安全管理の徹底など、最適な整備方針について、関係団体と検討を進めていきます。

続きまして、次ページ、7番、地域課の「地域のお宝！再発見事業」、765万3,000円です。イベントへの参加や体験を伴うまち歩きなど、新規参加者の拡充に向け、新たな

企画を検討し、実施する予定です。また、隣接する地域と連携したまち歩きについても積極的に取り組んでいきます。

8番、地域課の「みなとまち新潟伝統的産業PR事業」、322万9,000円です。関係機関と連携し、これまで参加者が少なかった年齢層を取り込めるよう、より効果的なPR方法について検討していきます。

最後に、区自治協議会提案事業は、来年度の委員と相談のうえ、事業を定めて、柔軟に対応して行く予定です。なお、健康福祉・安心安全関連事業については、皆様からご意見をいただきましたが、区づくり予算としてではなく、区の権限拡充に向けて、8区共通の別予算となったので、実質上、区づくり予算が971万9,000円増額になりました。

それでは、事業ごとに説明いたします。1番は健康福祉課の「レッツトライ！糖尿病予防事業」です。88万5,000円です。若い世代への啓発内容や方法を工夫するとともに、健診後に数値が高かった方への啓発や意識づけについては引き続き取り組みます。

2番は、健康福祉課の「みんなでつながるにっこに子育て応援事業」、483万5,000円です。パートナーも含め、より多くの方が参加できるように取り組みます。また、参加者が地域の子育てサロン等につながるができるよう、情報提供を行います。

3番は、健康福祉課の「赤ちゃん誕生お祝い会&交流会支援事業」、50万円です。広報の工夫や支え合いのしくみづくり推進員との連携、ノウハウの提供等により、多くの地域で開催してもらえるよう取り組みます。

4番は、総務課の「安全な地域づくり事業」、349万9,000円です。関係機関と連携し、避難所現地検討会のサポートに努めます。また、小学校の自転車教室や高齢者交通安全教室などを通じて、幅広い年齢層に啓発していきます。

(議長)

今、清水総務課長から説明していただいたものは、我々が諮問を受けて、全体会や各部会で討議して、最終的にまとめて答申したものの報告になります。これを受けてさらに意見、質問等がありましたらよろしくをお願いします。

よろしいですか。では、私から一つだけよろしいですか。最後の予算一覧がありまして、その真ん中より少し下に、区自治協議会提案事業で、地域課から165万円出ていますが、事業計画がまだできていなくて予算だけもらったみたいな形になっております。来年度の事業計画になりますと、期が変わり、メンバーも替わりますが、3月の全体会議で、私から、このようなことをやりたいなという報告をさせてもらおうと思っておりますので、皆さん、よろしくをお願いします。

では、よろしいですか。

どうもありがとうございました。

4 その他

(議 長)

続きまして、4番のその他に入ります。区役所からのお知らせです。まず地域課の大倉課長、よろしくお願いします。

(地域課長)

地域課長の大倉です。

お手元にあります、「新潟島でレトロなまち歩き」のチラシをご覧ください。地域課では、2月17日(金)から3月12日(日)まで、新潟島のレトロスポットを、キーワードを集めながら巡っていただくまち歩きを開催いたします。

チラシの裏面をご覧ください。じっくりまち歩きを楽しみたい方には、スタンプラリー形式、さくっとまち歩きを楽しみたい方にはInstagram形式の2つの方法をご用意しております。スタンプラリー形式では、チラシの中ほどより下に記載のまち歩きの立ち寄りスポット9か所をすべて巡って、キーワードを集めていただきます。正解者の方には、先着で300名の方にまちなかほっとショップのドリップコーヒー1袋をお渡しするほか、抽選で新潟市・佐渡市共通商品券や新潟漆器などが当たります。また、Instagram形式では、立ち寄りポイントを2か所以上撮影して、指定のハッシュタグをつけてまとめて投稿していただきます。こちらも抽選で景品が当たる企画をご用意しております。

このイベントを通して、特に若い方に新潟の魅力の一端を知ってもらって、ファンになってもらいたいと考えておりますので、お手元のチラシをお子さんやお孫さんにもご案内いただけるとありがたいです。1日かけてじっくり巡っていただくもよし、空いている時間にふらっと立ち寄っていただくもよしの、だれでも気軽に参加できるまち歩きイベントですので、ぜひ、皆様からのご参加をお待ちしております。

続きまして、2枚目のチラシをご覧ください。青いチラシになります。「はじめて、しもまち。パネル展開催」についてご案内させていただきます。しもまちの魅力を発信する「はじめて、しもまち。」プロジェクトでは、3月1日から3月15日まで、NEXT 21の1階アトリウムにおいてパネル展を開催いたします。しもまちを舞台にアーティストやクリエイターたちが活動してきたこのプロジェクトも3年目を迎えました。今回は、その3年間の活動の様子を写真や映像で紹介するほか、しもまち地域にある赤沢保育園の子どもたちと一緒に制作した作品など、しもまちの雰囲気を感じる展示となっております。

また、パネル展初日の3月1日には、オープニングイベントとして赤沢保育園の子どもたちとコラボレーションしたイラストレーターのタカハシスグルさんのライブペインティングを午後1時から開催いたします。先ほどお知らせしました「新潟島でレトロなまち歩き」と併せて、お近くにお越しの際には、ぜひ、お立ち寄りください。

(議 長)

続きまして、窓口サービス課の岩浪課長、よろしくお願いします。

(窓口サービス課長)

皆さん、お疲れさまです。窓口サービス課の岩浪と申します。私からは「祝アルビレックス新潟J1昇格！クリーンアクション」のチラシについてご案内します。

アルビレックス新潟のJ1昇格をお祝いしまして、クリーンアクションということで、ごみ拾いのイベントを開催いたします。委員の皆様の中にも、熱心なサポーターの方がいらっしゃるかと思いますけれども、中央区としても、J1昇格をお祝いしたいということで、日根区長からの発案で、このたび、ホームゲームの最初の日にごみ拾いの活動をすることにいたしました。3月4日の午前中、10時から12時までの間で、定員は100名となっております。まだまだ大丈夫ですので、ぜひ、応援がてらご来場いただいて、一緒に盛り上げていただけたら嬉しいです。よろしくお願いします。

(議長)

ここで、一応、区役所からのお知らせも終わりました。最後に、若干時間ができましたので、各委員皆様から、お知らせしたい内容等があればお願いします。

よろしいですか。どうもありがとうございました。それでは、一度休憩を取り、3時から市長との懇談会となります。ありがとうございました。

(休憩)

## 5 市長と自治協議会委員との懇談会

(高橋副会長)

中原市長におかれましては、大変お忙しい中、私ども区自治協議会委員との懇談会にお越しいただきまして、誠にありがとうございます。本日、司会を務めさせていただきます、中央区自治協議会副会長の高橋と申します。よろしくお願いします。

先日、新聞で発表がありましたけれども、一般会計予算ということで、活力向上、子育て、区づくりを柱に、過去最大の予算ということで発表されました。今日、委員の皆様からどのような質問がなされるか、期待したいと思います。よろしくお願いします。

それでは、ただいまより、市長と区自治協議会委員との懇談会を始めさせていただきます。

本日は、まず、中原市長より、令和5年度新潟市の取り組みについて、ご説明をいただきます。その後、委員の皆様との意見交換を行い、概ね1時間を予定しております。

なお、意見交換につきましては、本日、区自治協議会との懇談ということで、大変申し訳ありませんが、傍聴者の皆様、議員の皆様は発言ができませんので、よろしくお願

いたします。

それでは、中原市長、よろしく願いいたします。

(市長)

皆さん、こんにちは。中原です。

今冬は二度にわたりまして寒波がありまして、大変寒い冬になっておりますけれども、皆様の生活も大変かと思えます。今日は大変お忙しいところ、私ども新潟市との懇談会ということで、足を運んでいただきまして、大変ありがとうございます。

私から、今日、令和5年度の当初予算の案ができましたので、皆さんにご説明させていただきたいと思えます。その前に、まず、新たな総合計画につきまして、簡単に触れさせていただきたいと思えます。皆さんの3ページをお開きください。新たな総合計画に基づく新しいまちづくりがスタートしますので、若干ご説明させていただきます。

この新潟市総合計画2030は、2023年から2030年までの8年間の計画でありまして、新潟市のまちづくりの方向性を示す最上位計画です。この計画の策定に当たりましては、各区の自治協議会の皆様からご協力をいただきまして、大変ありがとうございました。自治協議会の皆様をはじめ広く市民の皆様の声を反映させるため、アンケート、ワークショップ、また、審議会などを実施しながら、昨年度から策定を進めてまいりまして、昨年12月議会で基本的な構想と計画部分について議決をいただいたこととあります。また、審議会には、各区の自治協議会から1名ずつ委員にご就任をいただき、貴重なご意見をいただきました。

4ページです。本市のまちづくりの考え方や方向性を示すまちづくりの理念は「みんなで新潟市の強みを活かし、人口減少時代に躍進する、活力あふれるまちづくり、持続可能なまちづくりを進めます」といたしました。

5ページをおめくりください。目指す都市像には、できるだけ市民の皆様に分かりやすくということをおのほうでも指示をいたしまして、将来にわたって新潟市ならではの心豊かな暮らしができるまちを実現したいという思いから、「田園の恵みを感じながら心豊かに暮らせる日本海拠点都市」を掲げました。

6ページです。計画の進捗管理を行うため、3層構造の成果指標を設定し、最上位の指標となる総合指標には、目指す都市像や新潟市の最重要課題である人口減少への対応を踏まえ、社会動態、合計特殊出生率など4つの指標を設定しました。

7ページをおめくりください。この目指す都市像の実現に向けて、分野横断的かつ重点的に推進する施策を「1 都市機能の充実と拠点性の向上」から「10 安心・安全で災害に強いまちづくり」まで、10の重点戦略としてまとめました。これらの重点戦略を推進することで、都市機能の充実と拠点性の向上を図り、市内全域の産業の活性化につながります。そして、そこから生み出される活力と財源を活用し、子育て支援など、住民福祉のさらなる向上を図る好循環といったことを創出していくことが重要だと思えます。

8 ページです。本市の最重要課題である人口減少への対応について、人口減少の要因は複雑に絡み合っており、左側の人口減少を和らげるイメージ図にありますように、薄い青丸の中に、合計特殊出生率の向上と書いてあります。それから、赤丸のほうですが、こちらは社会動態の転出超過の解消と記してあります。こうしたことは一つの施策によって状況が大きく改善するというものではありません。先ほど説明しました重点戦略を中心に、あらゆる施策を総動員して対応していかなければならないと思っています。

9 ページをおめくりください。新潟市の持続的な発展に欠かせない区におけるまちづくりについてです。以前から申し上げておりますように、新潟市内 8 区には歴史や文化、産業といったさまざまな特色と魅力があふれています。その特色と魅力が新潟市として一つになることで、都市と田園の調和による暮らしやすさなど、新潟の持つ強みを生み出しています。そのため、これまで以上に区の特色を前面に出しながら個性あふれる区づくりを進めます。そして、各区の活力向上を図り、8 つのカラーで成長し続ける新潟市を実現してまいります。

以上、総合計画の概要について、簡単に説明させていただきました。

次に、新年度当初予算案について説明させていただきます。11 ページをおめくりください。新年度一般会計当初予算は過去最大の総額 3,977 億円、前年度比 1.4 パーセント増となります。

力点の 1 つ目「活力あふれる新潟へ」では、にいがた 2 km に関する事業費は前年度から 5 億円を増額しまして、都心エリアのまちづくりを力強く推進していきます。次に、2 つ目「子どもと子育てにやさしい新潟へ」では、妊娠・出産・子育て 3 施策の拡充を図り、併せて、3 億円を増額いたしました。続いて、3 つ目「活力と魅力あふれる区づくりに向けた取組の強化」では、区長提案による各区の課題解決の加速化を図り、新たに 5 億 1,000 万円の各種事業を計上したほか、西蒲区におきましては、区役所が老朽化のため新庁舎整備にも着手いたします。

また、一番下のその他に記載したとおり、建設事業費のほうですが、約 390 億円を計上いたしまして、新潟駅直下バスターミナルの供用開始に向けた駅周辺整備事業などに取り組んでまいります。また、ご要望もいただきました学校の特別教室の空調整備などを推進していきます。

12 ページです。当初予算の概要についてです。一般会計、特別会計、企業会計のそれぞれの規模は、お手元の資料のとおり一般会計が 3,977 億円、特別会計が 2,539 億円、企業会計が 1,311 億円となり、全会計の合計が 7,827 億円で 89 億円の増と、対前年度比 1.2 パーセント増となります。

次に、借金に当たります負債残高については、臨時財政対策債を除いた令和 5 年度末見込みで約 3,656 億円となり、前年度比約 48 億円減少する見込みです。貯金に当たります基金残高については、令和 3 年度末では 107 億円余でしたが、この冬の除雪の財源として取り崩さざるをえなくなりましたので、今年度末残高は 95 億円余を見込んでいます。新年度予算では、この残高を維持・確保し、基金を使わないで 6 年連続の収支均

衡予算を達成したところであります。さらに、社会情勢の変化に対応した財政基盤の強化に向けた見直しとして、職員数の適正化や事業の見直しも進めてまいります。

13 ページをお開きください。ここからは、3つの力点ごとに具体的な新規拡充の取組みについて説明します。まず、「活力あふれる新潟へ」です。これまで、まちづくりの大きな転換期を見据えまして、都市再生緊急整備地域の指定や【「にいがた2km」の覚醒】、まちづくりの方向性を記したのですが、これを公表し、都市機能の充実に向け、都心エリアの活性化策を積極的に展開してきております。5月にはG7新潟財務大臣・中央銀行総裁会議が開催され、世界から注目が新潟に集まります。こうした大きなチャンスを見逃さないよう、新潟市の魅力を日本中、世界中にアピールをしていきます。

14 ページです。企業誘致については、にいがた2kmを中心にして、現在、よい流れをさらに加速させていきます。進出を考えている企業から新潟市の優れたビジネス環境を試していただく新たな取組みを実施します。また、企業の本社機能のさらなる誘致について、支援を政令指定都市トップクラスにまで拡充いたします。

都市機能の充実と魅力向上に向けては、ハード面では、引き続き、先ほど申し上げました新潟駅周辺整備事業を着実に進めるとともに、旧三越周辺の再開発や、新潟駅南口で予定しております（仮称）バスタ新潟の調査設計に関する予算も計上しました。ソフト面では、にいがた2kmと8区の魅力を高め発信する取組みを支援していきます。また、古町花街の歴史的な町並みの保存に向け、民間事業者の皆様と協力しながら進めていきます。

さらに、賑わい創出に向け、まちなかを緑で彩る取組みや、東大通の車道の一部を歩行者のための空間とする社会実験、今年度初めて開催したにいがた2km食花マルシェなどをバージョンアップして開催する予定です。

15 ページをお開きください。成長産業を育成するため、デジタル社会や脱炭素社会を見据え、DXやGXなどの新たな技術を活用したビジネスの展開を一層支援し、企業の稼ぐ力を高めていきます。農業においては、若者から選ばれるという観点も重視し、儲かる農業を目指し、新たに親元で就農する農業者をはじめ新規就農者を支援します。また、官民連携による販路拡大に取り組みます。

16 ページです。現在の働き方や暮らし方の変化というチャンスを生かし、移住定住の一層の促進に取り組みます。新たに地域おこし協力隊を活用しまして、テレワーカーのコミュニティ構築や情報発信など、移住者を呼び込む仕掛けを作っていきます。また、市外の副業人材などと新潟市内の企業をマッチングすることで、企業の課題解決や、新潟市との関係人口を創出する取組みを開始いたします。

交流人口の拡大では、今年、先ほど申し上げましたG7サミットを通じて、新潟の拠点性やおもてなしを内外にアピールします。また、ご承知のように、佐渡が世界遺産登録を目指しておりますが、佐渡市などと連携しながら、誘客活動を積極的に展開します。加えて、新潟駅の整備も進んでおりますけれども、この新しい新潟駅にふさわしい観光案内センターを整備いたします。また、現在、新潟県が中心となって官民で進めており

ます、新潟空港将来ビジョンの策定ということを検討しておりますけれども、この活性化に向けて、新潟市としても空港周辺道路の調査や検討を進めていきます。

17 ページをお開きください。「子どもと子育てにやさしい新潟へ」です。市長就任後からこども医療費助成の対象を二度拡充したほか、病児・病後児保育施設を8区で展開するなどを進めてきました。しかしながら、国や県からも新たな取組みが示されているなど、まだまだ子育て世帯の経済的、精神的負担は大きく、重点的に取り組んでいく必要があると考えています。

18 ページです。こうした考え方のもと、妊娠出産期の経済的、精神的負担の軽減に向け、このたび、妊産婦医療費助成の所得制限を撤廃いたします。また、産後ケアへの助成を政令市トップの水準にまで拡充し、医療料金を引き下げます。さらに、保育料について、多くの方からご要望いただいております、高校3年生までの子どもを軽減対象に含める拡充を行い、妊娠・出産・子育て3施策を充実します。

19 ページをお開きください。すべての子どもが豊かな子ども期を過ごせるよう、子ども条例に基づいて、子どもの権利擁護や社会参加などを促進します。また、ヤングケアラー・コーディネーターを新たに配置するほか、障がいがあるなど配慮が必要な子どもたちへの切れ目ない教育支援体制づくりを進めます。そのほかにも、ICTを活用し、見守り支援や事故防止対策など、子どもたちの安心・安全対策を強化いたします。

20 ページです。地域との連携による開かれた学びを推進するため、コミュニティ・スクールの充実や部活動の地域移行への準備を進めます。また、子どもたちが地域の文化・歴史を体験する機会を設け、ツアー形式のプログラムを新たに実施いたします。併せて、社会全体で子育てを応援する新潟市を推進し、民間事業者の皆様との連携を進めていきます。

21 ページをお開きください。活力と魅力あふれる区づくりに向けた取組みです。次の3つの見直しを行い、区予算と権限を拡大します。1点目の各区の課題解決では、区民の皆様の要望を踏まえた区長からの提案を積極的に予算化できるよう、予算編成プロセスの転換をこのたび図り、住民起点でのよりよい地域づくりをさらに推進します。新年度に各区で取り組む8区の本業は、資料に記載のとおりです。

さらに、地域の多様な主体とのパートナーシップにより、区のまちづくりを進化させていくため、区長からの提案を基に、関係部で予算化いたしました。記載の2つの新たな事業によって、各区の取組みを後押ししていきます。

22 ページです。2点目の8区の特徴を活かしたまちづくりでは、区づくり予算の実質的増額を図り、各区独自の取組みによる区づくりをさらに進めていきます。

3点目の修繕要望については、各区の緊急対応予算をこれまでの1.5倍に増額し、より多くの要望にこたえられるようにしていきたいと思っております。

23 ページをお開きください。ここから30ページまでは、それぞれの区の新規拡充事業を掲載しておりますので、区長から説明してもらいます。

(区 長)

それでは、25 ページをお開きください。このページは中央区のページです。

中央区では、活気あふれる拠点のまちとするために、来年度は5つの新規事業を実施いたします。1点目は、日と山浜魅力創出事業です。下町地域の少子高齢化の進行、特に高い高齢化率に対応すべく、これまでも区づくり事業を実施してまいりました。この地域課題への対応として、新年度は良好な自然環境に恵まれた日と山浜を地域資源として生かしながら、地域、区、関係者が一体となりまして魅力、賑わい創出に努めて、市内外から、特に若い世代の人たちに継続的に訪れていただき、移住、定住につなげることを目的として事業を実施いたします。

2点目は、西海岸公園多目的広場拡張整備事業です。この事業は、西海岸公園多目的広場の中にストリートバスケットコート拡張整備を行いまして、西海岸公園一体のさらなる魅力、賑わい創出と認知度向上、利用促進につなげてまいります。

次は、ぐるっとサイクルツーリズム事業です。今年度スタートいたしましたにいがた2kmシェアサイクルの一層の利用促進を図りまして、にいがた2kmの少し先となります沼垂地区や西海岸公園など、区内各所への誘客や地域の情報発信などの波及効果をねらうものです。新年度は、シェアサイクルの設置場所や自転車の車体に観光やイベントの案内を表示するなどいたします社会実験を行います。

次は、認知症地域支えあい推進事業です。認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指します。主な取組みは、認知症の正しい理解や早期発見の大切さなどの啓発のほか、徘徊模擬訓練開催の支援や関係者との連携強化など、地域づくりの支援を行ってまいります。

最後は、都市公園活性化事業です。この事業は、2本立ての事業となっております。1つは、都市部の大規模な公園の活性化により区の魅力を高めることを目的に、白山公園と弁天公園の今後の利活用の可能性について検討を行ってまいります。もう1つは、障がいの有無にかかわらず、だれもが分け隔てなく利用できるインクルーシブ公園の整備に向けまして、公園をご利用いただいている方々や社会福祉の団体など、関係者との意見交換を通じまして、ユニバーサル遊具や園路など、バリアフリー施設の検討と見守り体制など、その運用の指針、方針を検討してまいります。

中央区の主な事業は以上です。引き続き、市長、お願いします。

(市 長)

恐縮ですけれども、もう少し説明させてください。31 ページをお開きください。ここからは、主な新規拡充事業を総合計画の10の重点戦略の構成に基づいて掲載しています。後ほどご覧いただければと思います。

とびまして、45 ページをお開きください。物価高騰と新型コロナウイルス感染症への対応についてです。まず、物価高騰に対しましては、今年度も厳しい状況にある皆様を支援してきております。加えて、新年度は物価高騰により困窮する子育て家庭に対し

て、子ども食堂や子どもの学習、生活支援事業での食事提供を通して支援いたします。また、生活困窮者を支援する団体への補助拡大、中小企業への融資における対象者の要件緩和などを実施します。これらの取組みに加え、今後も国や県と連携し、適時適切な対策に努めていきたいと思ひます。

次に、感染拡大から3年が経過しました新型コロナウイルス感染症につきましては、ご案内のとおり、5月8日に感染症法上の位置づけが5類へ移行することを踏まえまして、引き続き感染拡大防止対策と医療提供体制の整備に努めながら、あらゆる場面で平穩な日常を取り戻せるよう、着実に歩みを進めていきます。

次に、都心のまちづくり【「にいがた2km」の覚醒】の取組みについてです。49ページをお開きください。これまで、まちづくりの方向性を定めました覚醒という文書の中で、三つの基本方針に沿ってまちづくりを進めてまいりました。基本方針1では、新潟駅南口西地区の事業をはじめとした都心部の再開発を促進するとともに、戦略的な企業誘致を推進してきております。昨年度の企業誘致件数が8社だったところ、今年度につきましては、1月末時点で14社と、これまで進めてきた成果が、徐々にではありますが、表れてきていると思っております。来年度も都市再生緊急整備地域を活用し、支援制度のさらなる充実を図りながら、こうした戦略的な企業誘致を推進します。併せて、DXプラットフォームの取組みやXRを活用した新たなビジネスを創出するためのプロジェクトを推進することで、稼げる都心づくりをより一層加速させていきたいと思ひています。

50ページです。基本方針2では、8区と連携したVR産直市場をオープンするなど、にいがた2kmと8区連携を促進する取組みを始めました。また、にいがた2km食花マルシェを初めて開催いたしまして、食と花の魅力を内外に向けて発信したところです。来年度は、この食花マルシェをバージョンアップし、新たににいがた2km魅力想像・8区連携支援補助金を創設し、都心エリアにおける新たな魅力やビジネスの創出、8区との連携を促進する事業へ支援を行います。

51ページです。基本方針3では、将来的な人中心の空間づくりに向け、東大通の車道の一部を活用して社会実験を行いました。また、「にいがた2kmフラワーフェスタ」を開催し、多くの方々からご参加をいただいたところです。さらに、回遊性の向上を図るため、にいがた2kmシェアサイクルの運用を開始しました。スタートした9月から11月の3か月で、約1万4,000回の利用があり、まずまず順調なスタートとなっております。

来年度につきましては、新潟駅・万代地区周辺将来ビジョンの具現化に向けた活動への支援や、緑豊かな都市空間の実現を図るなど、ゆとりと潤いのあるまちづくりを一層進めてまいります。

52ページをお願いします。新年度、新たに設置する公民連携のワンストップ窓口、公民パートナーシップデスク for NIIGATAについてです。53ページをお開きください。このパートナーシップデスクは、人口減少時代にあっても新潟市が日本海

拠点として躍進していくため、民間事業者などさまざまな皆様からの提案や相談などをワンストップで受け付ける窓口です。業務としましては、今ほど申しあげました提案・相談への対応のほか、事業化に向けたサポートも行ってまいります。

54 ページをお願いします。これまで新潟市が行ってきたことは、左側の点線の四角囲みにありますとおり、新潟市が取られている課題を公表し、その解決に向けた提案を募集していました。しかし、新年度からは、赤枠の民間活力を区や新潟市の活力につなげる提案についてもこの窓口にご提案いただきたいと考えております。右側に赤字で記載しておりますが、地域のポテンシャルに着目し、例えば、民間の方が投資をしてプロジェクトをやろうといった場合、それが区また市の活力向上に寄与すると市が判断した場合に、多様な地域資源との連携や情報発信、規制緩和などを新潟市として考えていきたいと思っております。また、ご提案いただいた内容によって、副市長をトップとした検討・推進体制を設置して、強力にサポートをさせていただければと思っております。まさにこれからの時代が都市の総力を上げた公民連携のアイデアの勝負の時代だと思っております。今後ともさまざまなご提案をいただきますよう、お願い申し上げたいと思います。

以上、令和5年度当初予算の概要につきまして、説明させていただきました。市民の皆様が笑顔で希望を持って暮らすことのできる新潟市の明るい未来を切り開いてまいりますと考えておりますので、引き続きのご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。ご静聴、ありがとうございました。

(高橋副会長)

続きまして、意見交換に移ります。できるだけ多くの委員の皆様からご発言していただきたいところなのですが、時間に限りがありますので、各部会から代表の方から発言していただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

それでは、第1部会の代表の方、よろしくお願いいたします。

(田邊委員)

第1部会の田邊と申します。よろしくお願いいたします。

本日は、3点ほどお伺いしたいことがあります。まず、まちなか活性化に取り組む私ども第1部会では、昨年10月に住民参加型イベントにいがた2kmガチャラリーを実施し、にいがた2kmの隠れた魅力を、微力ながら市民にアピールできたと感じております。このイベントを終了し、私たちはにいがた2kmの魅力をさらに高め、集まりたくなるまちにするには、環境整備とまちの美化が急務だと考えました。

例えば、公衆トイレの問題です。もともと数が少ないうえに、三越の閉店や複数のビルでの使用制限、夜間の使用禁止などでイベント会社、旅行者、観光客、タクシーの運転手など、トイレ難民の問題は長い間なおざりにされてきました。まちなかに公衆トイレを増やす予定などはないのでしょうか。

それから、公衆トイレが少ないのは、にいがた2kmエリアに公園や緑地が少ないことにもあると考えます。老朽化した空き家や使われていない空き地をグリーンインフラ整備に活用することで、歩きたくなる魅力的なまちになったり、ヒートアイランド対策になったりするかと思うのですが、先ほどにも基本方針に、緑のまちなかにするというようなお話もあったのですが、そのような施策や実施計画などはあるのでしょうか。

最後に、パーク・アンド・ライドの取組みについてお聞きします。巻駅、新津駅での社会実験が2023年3月31日で終了しますが、新潟駅で実施する予定はあるのでしょうか。人が集まりたくなるまち、歩きたくなるまちを実現するために、ぜひ、検討していただきたいと思います。

(市長)

第1部会におかれましては、今、ご報告がありました、昨年の10月に住民参加型のイベント、にいがた2kmガチャラリーを実施して、にいがた2kmの隠れた魅力をアピールしていただいたということで、大変ありがとうございます。感謝を申し上げたいと思います。

このにいがた2kmを、緑あふれ、人・モノ・情報が行き交うエリアを目指しているということでもありますので、私としては、やはり、このにいがた2kmに緑を増やしていきたい。ただし、一気にできるものではありません。やはり、財源の問題もありますし、住民の皆様のご理解というものも必要かと思っておりますので、一つ一つと申しますか、徐々に増やしていければと思います。

そうした中で、一つが、公衆トイレのお話をいただきました。今回の区長提案の中にも、トイレの要望がたくさんありまして、それをかなり実現させていただいたということもありますし、新潟地下街西堀ローサの中のトイレも改修させていただいたということでもあります。すぐにとというのは少し難しいですが、今後ご要望いただいたところで、現実的に対応できるところについては検討させていただきたいと思っております。

それから、公園ですとか緑は、今ほど申し上げましたように、非常に私も関心を持って、就任以来すぐさま、公園の整備ですとか緑地ということをやっていききたいと思っております。住民の方々の中に、やはり、冬の落ち葉がいやだからというようなことや公園の手入れが大変だからというようなことも、現実的にはあるわけでありまして。新潟市としましては、来年度、民有地における緑化の取組みの支援制度を創設して、民間の皆さんからも補助金制度を作って、そこに少しでもいいので緑を増やしてあげませんかという助成制度を創設させていただいて、引き続き、このにいがた2kmの都市空間の中に緑化を推進していきたいというように考えております。

パーク・アンド・ライドですけれども、そもそも郊外部でマイカーを駐車場などで降りて、そして、バス交通などに乗り継ぐ、あるいはJR、鉄道に乗り換えるという仕組みですけれども、社会実験をしておりますJR巻駅とか新津駅では、多くの皆様からご

利用いただいて、利用転換の効果が得られております。どちらかという、新潟駅というのは目的地になることが多くて、これを新潟駅の都心部、先ほど申し上げましたように、郊外部のほうでということから、職場ですとか学校につながっていくような流れがパーク・アンド・ライドということですので、現在、新潟駅周辺でこのパーク・アンド・ライドということは、新潟市として検討していないということで、ご理解いただきたいと思います。よろしく申し上げます。

(高橋副会長)

それでは、第2部会代表の方、よろしく申し上げます。

(佐藤委員)

第2部会の佐藤です。先ほど、膨大な説明をどうもありがとうございました。

第2部会としては、2つあります。まず、子ども政策の推進についてです。我が国は高齢者の福祉において、介護保険の導入、福祉施設の拡大、充実などの推進を図り、ここにきて欧米並みの水準になってきたと言われております。しかしながら、子どもの福祉におきまして、世界でもかなり後れていると言われております。少子高齢化による人口減が騒がれている中、国もこども家庭庁の設置等、子ども政策の推進を大きく進めているところです。

そこで、市長にお伺いしたいのですが、本市におきましては、今後、どのような子ども政策をお考えなのか、及び、近年、新たに推進したことがあれば、ぜひとも教えていただきたいです。これは先ほど17ページから20ページまで、十分説明していただいたのですが、その中でも、新潟で子どもを育てたくて仕方なくなるような政策を説明していただければありがたいと思っております。

そして、もう1つは、G7サミットおもてなし美化活動についてです。G7新潟財務大臣・中央銀行総裁会議、いわゆるG7サミットが新潟市で開催されることとなりました。これも市長のお力があるからこそ実現できたと思っております。そのような中で、G7サミット推進団体に中央区自治協議会が剪定されました。それに伴いまして、我々でいろいろ考えました。そこで、自宅及び事業所、店舗、事務所等の間口部分を除草やごみ拾いをして、常にきれいにしようという、G7サミットおもてなし美化活動なる事業を実施することになりました。これがそのチラシです。女池小学校の子どもに書いてもらいました。それで、ここで言う事業所には、市役所、区役所、公民館、水族館などの行政の事業所もすべて含まれております。そこで、市民の美化活動の模範として、行政職員によるそれらの行政施設の美化活動の早急な推進をお願いしたいのですが、いかがでしょうか。今言われております労働時間等の問題も発生するかもしれませんが、考慮のほどをよろしく申し上げます。

(市長)

まずは、子ども政策ですけれども、今回、子ども子育てにやさしい新潟にということ

で、力点の内の一つに置かせていただきました。ここにたくさん子育ての経験のある人たちがいらっしやると思いますけれども、やはり、今、家庭環境が変わってきている中で、子育てというものが、少しは楽しいとか幸せだとかということを感じていただけないと、ご夫婦の方々にとっては、子育てということが充実感につながっていかないのではないかという、私個人の気持ちがあります。そのために、子どもを持ちたいと考える人たちにとって、心身ともに安心して妊娠出産、産後を過ごせる環境を整えていきたいというように考えまして、このたびの来年度予算におきましては、妊産婦医療費助成の、これまで所得制限というものがございましたけれども、それも撤廃しよう。それから、産後ケアの事業を、利用料金をもう少し安く、利用しやすいようにしよう。それから、第3子以降の保育料の無償化の対象が小学校3年生まででしたけれども、これを高校3年生まで拡充をしようということで、この3つの施策を。やはり、これをやるには財源が必要になりますが、財源を何とか確保して踏み切らせていただいたということであります。

もう一つが、昨年4月1日から、これは議員の皆さんの提案でできた条例でありますけれども、新潟市子ども条例が施行されまして、子どもの意見表明や社会参加の促進に向けた取組みとして、この条例の周知や啓発、それから子どもの権利に関する相談の窓口や権利擁護機関の設置の検討を、現在、進めております。こうして子育てを応援する機運の醸成や子育て情報のさらなる発信の強化に努めていくことで、社会全体で子育てを応援するまちづくりに取り組んでいきたいと思っております。

2つ目のG7サミットおもてなし美化活動ということで、G7サミットの推進団体に中央区自治協議会の皆様からも加入いただいでご尽力をいただきますこと、感謝を申し上げたいと思っておりますし、それに伴って、美化活動を展開していただくことにも心から敬意を表したいと思っております。新潟市も一緒になって、この美化活動の推進に取り組ませていただきたいと思っておりますので、よろしく願い申し上げます。

なお、決意表明は区長からしていただければと思っておりますので、よろしく願いします。

(佐藤委員)

ありがとうございます。今、市長が、特に子どものことを説明していただいたのですが、これが実現すれば、新潟市は産科が足りない、小学校中学校が足りないというような状況まで子どもが増えると思っておりますので、よろしく願いします。

それからもう1つ、美化活動なのですけれども、行政の方が皆さん協力してくだされば、中央区は世界一きれいなまちになると思っておりますので、区長よろしく願いします。

(区 長)

先ほどご案内がありました、アルビレックス新潟の開幕試合のときのごみ清掃活動から、まずは実行に移したいと思っておりますので、皆様、ご協力、よろしく願いいたします。

(高橋副会長)

それでは、第3部会からお願いします。

(川端委員)

第3部会の川端と申します。よろしくお願ひいたします。

第3部会では、この2年間、中央区の市民アンケートを実施して、約600名の市民から回答していただきました。その結果を踏まえて、以下の3点についてご質問申し上げたいと思います。

まず、1点目ですが、マンガ・アニメ文化の魅力発信についてです。新潟市には水島新司さんのドカベンや高橋留美子さんの犬夜叉をはじめ、マンガ・アニメのまちにふさわしい財産がたくさんあります。また、中央区にあるマンガ・アニメの専門学校を目指して、全国から多くの若者が学びに来ています。にいがたアニメ・マンガフェスティバル「がたふえす」に加え、3月には第1回新潟国際アニメーション映画祭が開催されます。また、新潟市マンガ・アニメ情報館も2023年5月に10周年を迎えます。

ここから質問ですが、これらの既存事業や施設を発展的に活用し、にいがた2kmや古町の路面店のショーウィンドウの活用、ロケ地巡りや新潟縁の作品に限定したコスプレまち歩き、魅力発信コンテンツなどの整備を行い、点から線へ、線から面へと広げて、新潟市をマンガ・アニメのまち、聖地巡礼のまちとして発展していくお考えはありますか。

2点目です。食文化に関する、訪れてよしの新潟の魅力発信についてです。市民アンケートでは、皆さんが住んでよしの中央区である、ただ、誘客の面で、訪れてよしの中央区になってほしいという願いがありました。訪れてよし、誘客の魅力の1つが、豊かな食文化にあります。万代エリアや古町エリア、本町市場やピアBandai、沼垂などの商業エリアと自然エリアをつないで、各スポットの食も楽しめる回遊マップを作成し、徒歩やシェアサイクルで中央区を体感してもらったらどうでしょうか。

3点目です。鳥屋野潟の一体的な活用についてです。市民アンケートでは、中央区は豊かな自然とほどよい都市化の融合が住んでよしの理由につながっています。新潟市には鳥屋野潟という豊かで優れた自然環境があります。しかしながら、ビッグスワンやエコスタ、食花センターなど、鳥屋野潟南部の開発は進んでいますが、北側の整備が遅れているのが現状です。訪れてよしの新潟市にするためにも、鳥屋野潟周辺の一体的な整備と活用が必要ではないかと考えていますが、市長のお考えをお聞かせください。

(市長)

1点目のマンガ・アニメ文化の魅力発信ということですが、今、お話しいただいたように、新潟市出身の水島新司さんですとか高橋留美子さんですとか、私たちの新潟市からこうした有名な漫画家の人が輩出されております。そうしたことから、新潟市としてマンガ・アニメ情報館が10周年を迎えたということでもありますし、3月17日

には新潟国際アニメーション映画祭という、世界的に注目される映画祭も実施されるということで、私も大変期待しているところであります。こうした新潟市にあるマンガのみならずアニメの資源をうまく点から面にと、総論的なお話については、私も素晴らしいことだと考えております。今後も、できる限り、新潟市のマンガ・アニメというのは、新潟市ならではの特色であり強みであるというように思っておりますので、こうした幅広い層にアピールしながら、これを活用して新潟市のまちづくりに取り組んでいきたいというように考えております。

それから、お話のように、新潟市の大きな魅力が食、そして、訪れてよしの新潟の魅力の発信をしていくべきだというお話、全くそのとおりで、私も最近、テレビで見るとは思いますが、本町市場のほうに、少し伺ってみると、圏外から、首都圏のほうから来た、少し外行きの格好をした人たちが食事をしていて、どちらから来たのかと言うと、首都圏の関東のほうから来たということで、それだけ新潟市の食というものの、また雰囲気というものが、県外の方々から評価されているのかなというように、嬉しく感じているところです。こうした新潟の古町や本町、ピアBandaiといった地域の情報発信を、やはり、SNSやホームページなどを活用して、より一層情報発信をして、新潟の魅力の発信に努めていきたいと考えております。

それから、3点目の鳥屋野潟の一体的な活用についてですけれども、確かに、今、ご案内のとおりだと思いますけれども、新潟県が鳥屋野潟周辺の潟と公園の整備をして、新潟市におきましては、新潟県と連携しながら、市道の安全確保のための整備を進めさせていただいております。

新潟県では、鳥屋野潟周辺を4工区に分けておりますけれども、人の家の財布のことに触れさせていただくと礼を失するかもしれませんが、財源的な問題もこれあり、4工区に分けて順次進めているというように認識をしております。南のほうから始まって、北が、確かに、小張木ですとか桜木ですとか、公園整備、宅地もありますので、宅地の皆さんからも移転をしていただく計画だというように聞いておりますので、しっかりまた連携しながら、早期に一体的な整備が図られるよう、新潟県とともに連携しながら、私どももしっかり対応していきたいと思っております。

(高橋副会長)

続きまして、第4部会の代表の方、よろしくお願いいたします。

(松川委員)

第4部会の松川と申します。よろしくお願いいたします。

私からは、公共交通についてお願いがあります。世の中には、ポストコロナ、最初にもお話があったとおり、5類というお話が出ていますが、公共交通については新型コロナウイルス感染症で打撃を受けたまま苦しい状況が続いています。このままでは、活力あふれるまちづくり、持続可能なまちづくりに重大な支障を来すと思っております。市長には、

未来につなげる公共交通の基盤強化を至急、行っていただきたいと思っています。

要点を3つに絞って申し上げます。1つ目は、需要創造に税金を投入していただきたいと思います。全国旅行支援がすでに始まり、インバウンド需要も回復基調にある中、市外、県外、海外から人を呼び込み、それらの方が公共交通を利用できるように誘導してください。具体的には、新潟を含めた旅行商品にバスの1日乗車券をセットあるいはオプションで追加できるようにしたり、公共交通利用と観光、グルメ、先ほども食という話がありましたけれども、あるいは体験とセットになった商品開発が進むよう、新潟市は交通事業者、旅行業者、観光業者、その他の事業者を連携させる努力をお願いしたいと思います。そのためにも、今まで期間限定で出ていたバスの1日乗車券は通年販売が絶対に必要で、割引率に対して財政支援をすることは十分市民の理解を得られると思います。結果的に人流が増え、売上げが上がり、税金を投入した新潟市も税収増ということできちんと回収ができると私は思います。

2つ目の要点ですが、バス運転手不足への支援をお願いしたいと思います。バスの運転手は長時間労働と低賃金というイメージが定着してしまっていて、確保が非常に厳しく、それを理由に減便につながった例もこれまであります。これを事業者任せにしておいては、いつまでたっても解消されず、逆に悪化の一途をたどると考えています。バスの減便は利用者の深刻な不満を招いており、今いる利用者まで離れてしまう危険があります。支援は便数確保を条件とし、運転手の処遇改善に絞って財政支援を行えば、市民の理解を得られると思います。併せて、女性を戦力として活用していくうえで、働きやすい職場と制度の整備に対する支援もお願いしたいと思います。今言ったようなことで運転手に対してのイメージが極めてよくない状況ですけれども、SNSなどを活用して、運転手に対するイメージアップを後押ししてほしいと思います。

例えば、三条タクシーの運転手兼インフルエンサーのひよりんさんは、ティックトックのフォロワーが9万人以上で、全国からその人目当てに利用者が訪れています。つい最近、三条市の観光大使になったというニュースも流れました。そういったことで、イメージアップをすることで運転手を志す人を増やしていただきたいと思います。これは事業者任せにせず、事業者と新潟市が連携して、PRの幅を広げていただくことが必要と考えています。

3つ目は、未来へつなげるために、市民の関心を高める努力をしていただきたいと思っています。例えば、岡山市や熊本市では、期間を限定して何度か公共交通無料デーを実施しており、当日は大変な人気で、普段、乗ることのない人も、じゃあ乗ってみようか、まちを回遊してみようかということで、大変な賑わいになって、手応えが出ております。新潟市でもこういった取り組みをしてみたいかと思いますが、企業に対しては、今現在、新潟市未来につなげる公共交通サポーター企業制度というものがありますが、現在は、ホームページやツイッターで企業名を紹介するのみになっています。例えば、一定人数、あるいは中小事業者の場合は10人だったら5人以上とか、割合に応じて、同時に定期券を購入する際、割引率をアップした企業定期券を交通事業者が販売し、その割引を上

乗せした分を新潟市が負担する仕組みがあってもよいと思います。こういった取組みの先に、これまで実験段階でとどまっているMa a Sアプリりゅーとなびの本格運用を目指し、電車、バスに加えて、先ほどもお話がありましたが、シェアサイクルとか電動自転車、あるいは信濃川ウォーターシャトルのような水上交通やオンデマンドバスまで、まとめて経路、時刻検索、購入、決済をワンストップで完結できるよう、今から取組みを加速させていただきたいと思います。

先ほどシェアサイクルの話もありましたけれども、それぞれがばらばらでとても使いづらい状態です。例えば、現在地と目的地を入力すると、シェアサイクルも自動的に出てくるような仕組みが出れば、とても使いやすくなると思います。こういったことで使いやすい公共交通を実現して、市長には、最初のまちづくりの理念、活力あふれるまちづくり、持続可能なまちづくりの基盤を作っていただきたいと切に願う次第です。

ちなみに、表紙を含めて4ページの簡単なパワーポイントの資料を作っておきましたので、後でお渡ししますので、よかったらご覧いただきたいと思います。市長のご尽力を、ぜひ、お願いいたします。

(市長)

貴重なご提言を数々いただいたかなと思っております。新型コロナウイルス感染症が発生してからここまでの約3年間、外出の自粛や行動変容、こういうことを我々は求められまして、公共交通機関への影響も大変大きなものがあります。JRにおきましては新幹線が現在7割くらいまで回復したというようにお聞きをしておりますし、また、バス交通につきましては、8割くらいまで戻ってきたということでもあります。先ほど申し上げましたけれども、5月8日からは感染症の位置づけが変わって感染対策が緩和されるということで、さらに私たちの行動が回復をしていくということを期待いたしているところであります。

港、新潟におけるクルーズも昨年の11月にガイドラインが出まして、クルーズ船につきましては来年度、13隻くらい入ってくる予定でありますし、新潟空港におきましても、海外線、台北線が新規就航したということで、徐々にこうやって観光のほうも交流人口の拡大に向けて拡大してきている中で、しっかりと多様な移動の手段を新潟市として確保していきたいと思います。

それぞれご提言いただいた、バス交通の具体的な内容につきましては、ご意見をしっかりと参考にしていきながら、できるものについて対応し、新潟市において多様な移動手段というものがしっかりそろえておけるようにして、活力あふれる新潟市になれるよう、取り組んでまいりたいと思います。

(高橋副会長)

各部会の代表の方々、大変ご苦労さまでした。

それでは、これもちまして、市長と区自治協議会委員の懇談会を終了したいと思

	<p>ます。中原市長、大変ありがとうございました。</p> <p>(市長) 皆さん、どうもありがとうございました。</p> <p>(高橋副会長) 皆さん、大きな拍手をお願いいたします。</p> <p>6 閉会</p> <p>(議長) 皆さん、どうもありがとうございました。ここで全体会は閉会となります。</p>
県議・市議	5 名
傍聴者	3 名
報道機関	0 社